

刊夕日十二月六

常警日新聞

定価 一月五拾五圓 郵費五圓
 廣告料 五圓 一文字一圓 一行五拾圓
 日曜 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日
 發行所 常警日新聞社 東京市本町三丁目
 電話 六三〇 印刷所 常警日新聞社 東京市本町三丁目

小外無別法 (一)

眞 繼 雲 山

唯識論の所説に従ふと本
 來宇宙には固定したる何物
 もない、三界は唯だこれ一
 心、心外に別に法はないと
 いふのである。

換言するとわれわれが山
 川草木、人物花鳥、妻子眷
 族などさまざまのもののあり
 と考へてゐるのは、己れの
 心がさういふ相をえがいて
 ゐるのである、然うしたも
 のがありといふのは心のは
 たらきであつて、萬有はた
 らされ、是れ自心の影像に過ぎな
 い、心の外には何物も無い
 のだといふのである。

この説一見してわれわれ
 凡心には甚だ合点のゆかぬ
 話である、如何となれば現
 に私の前には机もある火鉢
 もある、眼を轉ずれば女房
 もあり子供もある、歩みを
 戸外に移せばカフェーには
 女給あり、料理屋には藝者
 あり、美人を得んとするに
 得失を別にして、たしかに
 手ごたえはある、それが心
 の影像であるとは何として
 も受取り難い。

初夏の歌

霧 風 生



切は残存してゆくやうでも
 ある。
 斯やうに考へてくると古
 來有名な文句として遍額に
 まで残つてゐる「三界唯一
 心、心外無別法」といふ理
 論は甚だ腑に落ちかねるや
 うに思はれる、宗教は科學
 でなく議論でないにしても
 科學や理性に矛盾するもの
 を私からは宗教として受け
 入れるわけにはゆかない。
 左りながら、この三界唯
 一心の説を靜かに眺め考へ
 てゆくと、仕舞ひには成る
 程と合点らるゝ節が出て
 来る。

先づカフェーの美人氏を
 物にせんとて數日ぶりに足
 を運んで見たと假定せられ
 よ(縁起でもない)と彼れ氏
 立腹する勿れ)思ひきや無
 常の嵐一夜のうらにコロリ
 と參つて、白骨と化してゐ
 たと思ひたまへ、最早や昨
 日の美人は捉へんとするに
 實體なく數月來の出來心の
 對照物もさては自心の影像
 に過ぎなかつたのかといふ
 ことが分る、女房に死なれ
 て見れば成るほど女房は幾
 とせ以來の我が識の畫像で
 ありしよなと合点さるゝで
 あらう。

〇十五夜の朧の月にさそは
 れてハモニカふさし乙女
 ありけり

〇クローバーの上に轉がる子
 供等の恵みの初夏が訪れ
 にけり

〇影もなく只聲高かく啼く
 雲雀われ慰いて空を眺
 めり

〇別れたる友を思へて初夏
 の夜を歩み續けりわれの
 わびしさ

〇初恋を知りたるが如しッ
 ハジンが今日も野邊路に
 佇めりけり

〇いつまでも何時までも寝
 心地よし初夏の朝ママー
 に起され八時打ちけり

〇蛙鳴く初夏の夕暮れさま
 よふて我れ柔かき草笛を
 ふく

〇鹽屋崎の燈臺のサイレン
 たいまなく曉さ近し霧立
 にけり

■ 産名城磐 ■

らか鹽と節鯉

魚問屋

店理代平命生本日本最優最
 榮 盛 賀 志
 番一三二電 目丁四平

初夏の海は……

トテモはがらかです
 新緑と情熱の……
 ローマンスと郷愁の海邊へ……
 一日の清遊を
 お試みになりませんか

尼子タクシー
 電六四〇番

金銀 高價買入ます

プラチナ

平町田町丸新デパート
 假 營 業 所
 根本時計店

門 專

産婦人科
 花柳病科

井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)
 大和田醫院

夏服

軽くサラリとした新製品
 を豊富に取揃へました。

シルクポーラー三揃	¥17.00
シルクポーラー上下	¥12.00
トルピカル上下	¥7.50
黒セル上衣	¥3.00
純毛白セルづぼん	¥2.50
白直衣	¥1.20

ふかや洋服店 平電二〇三

川本 本場新茶入荷

一斤に付、四〇より 一、〇〇〇まで
 新家庭用ほうじ茶

斤 六〇 四半斤 一五錢
 斤 四〇 一〇錢

御家庭用
 京清水焼
 御前茶器
 番茶器
 組三〇錢
 在荷豊富

香味本位の本場銘茶を
 召上りませ……

電三九六番
 大勝園

月曜言論

運動場建設易し

昨日は平町に於て磐陽野球の試合がファンの血を沸かし、熱狂的の場面を幾度か繰り擧げられた。

最近數年間に平町に於ける野球熱は素晴らしい勢ひを以つて高調した、これは寧ろ全國的の傾向と見られて居るが、獨り野球のみに限らず庭球にせよ、或は他の競技にせよ、我が郡下が全國的現下の情勢に劣る處なく、体育競技の益々隆盛に赴きつゝある現況は喜ばなければならぬ。

体育の消長は古來の歴史に顧みても國運の盛衰と密接なる關係が認められる、彼のギリシヤ古代史の如きは最も雄辯に此の事實を物語つて居るものである、即ち身心鍛練する場合は其國家並に種屬は繁盛に赴く、然るに是れに反して國民が安墮に流れ、又は文弱に傾く場合は衰運に向ふ時である、故に現下の情勢より顧みて盛んに体育を奨励し其身体を強壯ならしめ、併せて其精神を剛健ならしむることは殊に肝要であると考へる。

なほ運動慾は人類の自己保存に授けられた本能である、而し其度を越えて是れに耽るならば、人の健康を害し、身体を破壊する結果を招来するが故に、規律節制を重じ、飽迄も紳士的態度を以つて身を持さね

ばならぬ即ち運動競技が屢々批難される場合あるは、運動競技を自體の罪にあらずして、それに携はる選手の質が如何に依るものと

思ふ。此の點の諸注意が充分運動家の間に行き届りて、体力、健康の上に運動競技の奨励が最も肝要である事を

貧困救済の機關として

共濟事業助成會を新設

現在の同潤會は解散

平町に於ける共濟委員會の後援事業としては平町の各僧侶及び町有志に依つて組織された同潤會は一般市民を糾合すべきを旨とする縣令の社會事業例と幾分趣きを異にして居るので平町役場では過般來是が研究の結果、近く同潤會を解散し市會中である

磐陽大熱戰

野球

朗らかな健康美に 聲援歡呼どよめく 昨日の跳躍

青葉香る六月、平町の運動界を飾る磐陽野球大會は昨日磐中及び平商グラウンドに開催、久し振りの好天氣に恵まれて平商、磐炭、平俱樂部、鐵道、其の一擧手一投足が見る者をして血湧き肉躍らしめ聲援歡呼のどよめきは終日高月及び揚土臺上を壓して、朗らかな健康美の悦びを感じしめた、いでや其戦績を左に掲げやう……

平商善戰

遂に惜敗

平商赤坂投手病後の事として振はず磐炭は屈強のチャンスとばかり當るに委せて打ちまくつたが平商もさるもの結局八對五のスコアにて食ひ止惜敗した

一般人士に首肯し得せしむる事が出来た時こそ、多年平町の懸案となつて居るグラウンド建設の如きさまで困難な問題でなからうと信ず

Score table for 磐中 0-10 遊友. Columns: 遊友 (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10), 磐中 (0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0).

Score table for 平商 0-2 磐炭. Columns: 磐炭 (0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0), 平商 (0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0).

平俱大勝

鐵道腐心す

次いで午後一時半より平俱樂部對鐵道の戦に鐵道先攻にて開始、平俱樂部のコンデインジョン物凄く爲めに鐵道氣を揉んで投手を替へる事三回に及んだが遂に及ばず左のスコアにて平俱樂部コールドゲームに依り大勝した

Score table for 平俱樂部 5-2 鐵道. Columns: 鐵道 (5, 2, 0, 7, 0, 6), 平俱樂部 (1, 9, A, 19A, 對, 3).

磐中棄權

遊友最後の不振

一方磐中對遊友は午後三時半より平商グラウンドに於て遊友先攻にて開始されたが最初より磐中勝味十分にて飽氣なき戦ひに一般ファンも熱なく只傍觀の姿であつたが俄然九回の表遊友最後の猛攻撃開始其の効を奏して形勢逆轉し來つたので一般ファンの氣を盛り起した然れ共遺憾な

Score table for 磐中 1-0 遊友. Columns: 遊友 (1, 0, 2, 0, 2, 0, 2, 2), 磐中 (0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 2, 6).

縣指定麥作の

十石收獲成功

試作者荒井氏安心

視察員が續々詰め掛く

石城郡下に於ける本年の麥作は一般に良好であるが殊に縣指定試作者として選ばれた石城郡錦村の荒井一二氏は反當り十石の收獲をあげたので各村の視察員が連日詰めかけて居ると

豚の値段

東京で騰る

既報石城郡下の豚コレラは其後防疫徹底せる爲めか漸く終熄期に入つたもの、如くであるが本日郡農會に入つた通牒に依ると豚の本場として東京市場に移出され居る豚コレラの發生を見未だに豚コレラの發生を見居る結果東京市場は品不足を告げる有様となり爲めに値が六割の高値を突破したので勢ひ東京市場

から磐中捕手不慮の怪俄の爲め止むなく涙をのんで棄權したので結局十對零のスコアとなり遊友の勝に歸した

小川江筋

臨時會協議

磐城小川江筋組合では來る二十七日午前十時より團體自務所に於いて臨時會を開き左記の件に就き協議する

- 一、共有金運用の件
一、昭和七年度組合歳入歳出追加豫算の件

体育協會 事業 役員會議

既報石城郡体育協會役員會は來る二十五日午後一時より平第一小學校に於て開會されるが協議事項は本年度の事業に關する件であると

對校柔道の選手決定

磐城中學校及び平商業學校柔道部にては今夏八月一日磐中道場に於て開催される

縣下中等學校體育大會柔道大會に左の如く出場選手を決定し必勝を期し目下猛練習中であるが昨年の戦績は磐中が第四位平商が中以下であつたと

Table of names for sports events: 磐中 (坂本 文彦, 吉田 遠平, 遠藤角之助, 猪狩不二雄, 矢島 久司, 草野 一郎), 平商 (佐藤忠雄, 森田正光, 大木 茂, 遠藤喜平, 名畑富能).

大陰ぼりの一人は 一昨年来平し

日鮮融和を口に 書を揮毫して廻つた男

警城中學校驚く

露國官憲の傀儡になつて我が皇軍の後方を擾亂すべく朝鮮鐵道の

破壊を企てた恐るべき大陰謀事件の犯人露領在任朝鮮人共産黨員六名の内の一名朝鮮江原道高城郡新北面長箭里生れ當時浦鹽ムクトバザリデン船夫朴春燮(三九)は今から

二年前 平町にも来た事があり其時は盛んに日鮮融和を口に伏見町長其他知名の士の紹介状を持つて各官衛や學校及び有志等を訪問五圓乃至十圓の潤筆料

徴して 書を揮毫し廻つたが當時警城中學校にて金五圓を以て左記の如く一敢山鳥曙雲水 萬照水螢秋草中と書た爲め警中にては是れを掛軸に表装し當直

部屋に 掛けて置いたが陰謀犯人の一人と知つて本日直ちに床の間から撤去した、尙齊藤敬頭は語る

「あの男が大陰謀の共犯に参加したとは實に驚いた事です、當校を訪れた時には貴公子然として取濟した態度で虫も殺さぬ様な顔をして居ました」

流れ込む 政府米

石城に三千百俵 農家救濟の一端

既報農家救濟の一端として郡下各村で盛んに行はれた政府古米の拂下数は非常な數に昇り去月中に平穀物檢

査支所管内各驛に到着せる政府米は合計三千百俵の多數に上つて居るが名驛別到着數は左の如くである

平驛九六〇俵 泉驛八四〇俵 四倉二六〇俵 草野二〇〇俵 植田三六〇俵 俵 湯本四八〇俵

道路の球投げは 處罰される

大小選手御用心

平町には野球熱に煽れた小學生を始め大工さん、墨屋さんの徒弟に至る迄道路のキヤツチボールが盛んになり夕方四時から六時頃迄は各道路に是等大小選手の猛練習で通行人に迷惑を掛けて居る爲め平署では嚴重な取締を開始し既に四丁目山田某外二三名が處罰された程であるから道路の球投げ競争はどちらにしても危険である

脅迫及び住居侵入事件の公判は明日午前九時より平區裁判所に於て竹内判事係り市川檢察立會門傳辯護士列

幼い木まで 片ツ端から切る

農家窮乏の穴埋めに

平署管内に於ける林野火災は昨年と比較して殆んど無火災に近い成績であるが一方農家窮乏の穴埋めを山林より求めんと幼齡林まで大伐採を行ふ傾向が現れて來たので平署では近く保護施設として各林野組合に標語記入の標柱の設立方を督促する事になつたと

警中惜くも 第二二位

昨日の剣道大會

既報警城中學校及び平商業學校剣道部にては昨日午前十時より双葉中學校道場に於て開かれた濱三郡中等學校剣道大會に出場したが戦

明日のラジオ

廿一日

今晚も明日も北東の風晴れ

今日の部

後六〇〇(子供の時間) お話「海底の不思議」水産試験所技師丸川久俊
後六二〇 コドモの新聞 村岡花子
後六二五 カレント・トピックス ハロルド・パーマー
後八〇〇 チェロとピアノ 湯本四八〇俵

明日の部

前九一〇 料理献立「魚の道明寺揚、割醬油」小野やす子
前一〇三〇 婦人講座「歐洲土産話」岡本かの子
後〇〇五 説教節「松島松づくし」若松若太夫
後二〇〇(家庭大學講座)「俳句と云ふもの」概念一 高濱虚子
後六〇〇(子供の時間) 漫畫劇「續からず勘吉」漫畫劇場
後六二〇 コドモの新聞
後六二五 カレント・トピックス ハロルド・パーマー

無燈火 警戒の網に二十名

警戒の網に二十名

平警察署では去る十八、十九の兩日夜間平町の主要道路に於て自轉車其他の無燈火通行を取締べく警戒網を張つた處内郷村小島佐藤良治(四〇)以下十九名の違反者を檢挙今後嚴重に取締を行ふと

自轉車卅二臺 窃盜犯人拘留

既報石城郡好間村大字上好間字北町四十番地福田正秋(三七)が本年四月中同村山田銀次郎所有の自轉車を手初めに内郷村其他より三十二臺價格六百餘圓を窃取せる事件は本日午後一時より平區裁判所に於て關口判事係り上田檢事立會の下に公判開廷、事實審理の結果窃盜

好間疫痢豫防 好間村古河炭礦では去る十七日午後一時より同小館醫局に於いて従業員五百九十六名の疫痢豫防の注射を行つた

四倉市場 (十九日) 白蘭 二千八百八十貫 最高 二十六圓七十錢 最低 廿四圓五十錢 買馴廿四圓八十錢 掛目二十圓 賣馴 三百十三貫 最高 廿五圓三十錢 最低 廿一圓十錢 買馴廿三圓七十錢 掛目二十圓

植田市場 (十八日) 白蘭 百二貫 最高 廿五圓二十錢 最低 十八圓十錢 買馴廿二圓二十錢 掛目二十圓

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤 紫雲畫

第八十席 真庭念流達人櫻井五助

周一郎五助と再會

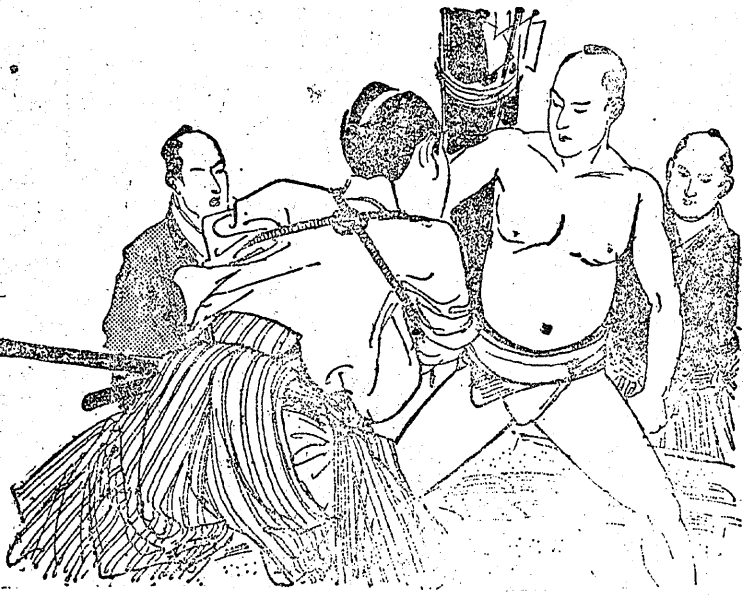
櫻井五助はヒラリと身を交し曲者と云ひながら鐵扇にて斬込む白刃をバチンと受止め、二三合合したがバタ／＼と云ふ音がして跡はひっそりとした、ところへ駈けて来たは音五郎に仙八久六の三人

音「先生、何ぞ出ましたかえ、ピカリと光つたが……若し先生」

五「ウン怪しい奴が出た、いさなり俺に斬り付け居つたが白刃は打落して化物は取押へた」

音「そいつはとんだ事でござんした、化物はどうしました」

五「化物を押へ付けて居るコレ動くナ妖怪でありながら刀を持つて人間に斬つてかゝるとは不埒至極コレ神妙にいたせ、音五郎化物を見ろ」



仙「侍に化けたナ、オヤオヤこれは小川の庄兵衛さんの用心棒荒川郷藏でござんす」

櫻井五助はヒラリと身を交し曲者と云ひながら鐵扇にて斬込む白刃をバチンと受止め、二三合合したがバタ／＼と云ふ音がして跡はひっそりとした、ところへ駈けて来たは音五郎に仙八久六の三人

狸だナ
音「古狸でござんす、さもなければ悠うまく化ける事は出来ませぬ、先此後こんな悪戯をしねえやうに殺した方が宜うがせう」

置いた
音「成程然したぬきが聞いたら覺えのない罪を被た云つて怒りますぜ」

五「イヤ荒川氏ではあるまい、これは妖怪が荒川氏の姿となつて俺を威したものであらう、荒川氏は立派な武者、斯様な所に待受けて不意に斬つてかゝるやうな卑怯な事はいたすまい、此邊に居る狐狸の悪戯に相違ないのう、音五郎これは

五「とんだ悪戯者に出遇うて酒の酔も醒てしまつた、さあ、戻るであらう」

音「先生、彼奴は荒川でござんすぜ」

五「ウン郷藏に相違無い、然し荒川であると申すと彼に恥辱を興へる、それを氣ざ角力を見た上に餘興が敵

討、これで入場料無し、こんな安いものは無いとドゥツとよめき渡つた、この折見物を押分けてそれへ出たは逸見多四郎、續いて秋山要介、人々はこれを見て逸見先生が來なすつた、それにもう一人立派な侍が居る、この二人が出たからには仲裁をするかそれとも勝負をさせるかと思つてゐる。

看護婦急派の求めに應じます

平看護婦會

電話三〇七番

時計眼鏡

トキワヤ 平一・電三三九

吉田眼科病院

平野町、電話六八番

恩給年金 立替
簡易保険即時
無盡通帳 賣買
其他債券

鈴木重藏

傘日とルソラパ

美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗

〇四一電 ヤルツ 四平

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

山崎合名會社

福島縣平町電話營業部二階工場
明治生命會社代理店 山崎與三郎